

平成28年度

研究集録





テーマ「異年齢とかわりを深めるための指導計画の工夫」



平成28年度 年間異年齢交流活動

年長 2クラス(26名) 年少 1クラス(20名)

日程	活動	内容	活動の写真	形態	年少の様子	年長の様子
1 4/18	年長児と一緒に園庭めぐり	年長児が年少児に遊具の約束を教えた り、一緒に遊んだりする		ペア①	まだまだ、落ち着かない時期ではある が、年長児が手をつないで教えてくれ ることで、約束をよく聞いている様子 もありった。ペアによって年長児の負 担も大きいかもしれない。	初めてのペア活動に初めは戸惑いを感じて いたが、幼児なりに一生懸命遊び方や約束 を伝えようとしていたり、年少児の話を聞きな がら一緒に遊んだりしていた。
2 4/28	年少組みを迎える会	迎える会の中でペアでペアと一緒にリズムを したり、年長から年少にプレゼントを 渡したりした。		ペア①	年長さんと一緒に参加するということで普段より も落ち着いて参加していた。年少児にとっては、 年長さんからの手作りプレゼントがとても嬉しい 様子だった。また、リズムではたくさん笑顔が見 られ、みんなできてリズムがたくさんあるとい いと感じた。	緊張している年少児を気遣ったり、話しか けたりしながら一緒に楽しんでいった。プレ ゼントも喜んで首からかけてもらえ、嬉し かったようだった。
3 5/17	一緒にお弁当を食べる	年長組の部屋でペアで一緒にお弁当を 食べる		ペア①	ペアを組んで一緒に食べることで 親しみをもったり、また、あの子 と遊びたいという気持ちになって いたようだ。ペアを組んで食べた ことがよかった。	年長組の部屋の説明をしたり、同じおかず に喜んだりしながら楽しくお弁当を食べ ていた。なかなか話が弾まない幼児もいた が、教師がきっかけ作りをすることで、少 しずつ話をすることができるようになっ た。
4 5/27	一緒にお弁当を食べる	下校庭への散歩を予定していたが、雨 のためホールでシートをひいて、ペア で一緒にお弁当を食べる		ペア②	続けて食べる機会があることで、それ が楽しみになっている様子がある。前 回と違うペアであっても、年長児と ホールという特別な場所で食べる楽し さを感じていた。	ペアの年少児にシートで食べる時の準備の 仕方やお弁当の姿勢など教えてあげよう とする姿が多く見られた。ペアを変えたこ とで、戸惑う様子も見られたので、前回の ペアのままのほうがいい。
5 5/31	下校庭へのお散歩校庭と 園庭遊び	下校庭から小学校校庭へお散歩に行 き、そのまま小学校庭と園庭で遊ぶ		ペア②	今回は遠足に向け、並んで歩くというのが大事な経験だっ たが、年長児と一緒に経験することで、教師が注意するこ とが減り、楽しんで散歩することができた。年少だけで 行った場合は「ちゃんと並んで歩くこと」を重視してし まったかもしれない。今日一緒に長く過ごしたことで「種 れのお兄さん、お姉さん」という存在になった幼児も見ら れた。	年少児のペースを気にしたり、見つけたも のを教えてあげたりしながら一緒に暮の自 然や小学校の遊具を楽しんでいた。年長児 のみで1度散策をしてから交流したほうが もっと年少児をリードできたかなと思う。
6 6/17	園外保育 (丸山公園)	丸山公園からの帰り道、一緒に手をつ ないて歩いて幼稚園まで帰る		ペア②	年長児と一緒に帰りに手をつないでく れたことで、疲れが出る帰り道も元気 に歩いてくることができた。また、ク ラスの友達よりもトラブルも少なくなっ た。	疲れている年少児の手を引き、「もう少し だよ」「大丈夫？」などと声を掛けたり、気 話や歌で楽しく歩くことができようにな った。

7	7/11	カレーパーティー	年長児の調理（ニンジン切る）の様子を見たり、お昼を3クラスの教室に分かれてペアでペアで一緒に食べる	ペア③	調理の様子を見ることで「すごいな」「やってみよう」というあこがれの目で見つめていた。この時期になると、自分たちの活動とは違う、年長児の活動への興味や関心、憧れが出てきていた。	自分たちが調理したこともあり、野菜が苦手な年少児に対して「食べてみたら美味しいかもよ」「ひとつだけ頑張ってみたら？」などと励ましている姿があった。また年少児から「美味しい」「ニンジン切るの上手だね」などと褒めてもらうことも嬉しそうにしていた。
8	9/6	泥遊び	泥遊びが十分にできる時間と場を確保し、同じ場で楽しむようにする		普段のかかわりが少ないせいか、なかなか同じ場で一緒に遊び始める様子は見られなかった。しかし、何人かの年長児がチヨコケーキの型抜きをつくり方を教えてくれて、互いの遊びたいところが重なると一緒に遊ぶことが嬉しそうだった。	同じ場で遊ぶ中で、自分の知っている遊びを教えてあげながら一緒に楽しんだり、年少児の遊びに参加したりしてやりとりを楽しんでいた。
9	10月	異年齢競技 玉入れ	運動会種目として、異年齢玉入れを行い、紅白のチームを組んだり、一緒に練習したりして遊ぶ		年少にとっては、年長児のリレーに興味がある幼児が多かった。運動会前から一緒に遊んで楽しんでいて、玉入れが同じチームということから、クラス別リレーも一生懸命頑張っていた。チーム意識が芽生えていた。競技があることで、一緒に遊ぶ中で玉入れを楽しんだり、年長児がリードしながら遊んでもらえたりすることがよかった。	年少児と一緒にチームとなって競う競技があったことで、例年よりもチームとしての意識や応援しようという気持ちが高かったように思う。年少児は1クラスを半分に分けたので、1度きちんとチームの組み合わせをもっとしっかり出来るようにしたい。
10	10月	運動会後の遊び	運動会であこがれたリレーやダンスを教えてもらったり、一緒に遊んだりする		ダンスやリレーは、運動後の異年齢のかかわりの深まりにつながった。あこがれるやってみようという気持ちと一緒に楽しむことが出来た。年長児のかかわりが自然と多くなった。年少は、年長児の遊びにはついていくことにあまり抵抗はない様子だった。教師も年長児に遊びを進めることを任せ、見守るように心がけた。	走る順番をリードしなから決めようとしたね、「走ったら今度は○○ちゃんに渡してね」と次の人を教えてあげたりして積極的に遊びを進めようとしていた。自分の思いと年少児の思いの差に葛藤する場面も見られた。
11	11/17	4年生 遊び交流	4年生との遊び交流の際、年長と年少もグループを組み、そのグループを4年生と合体し、異年齢で一緒に遊ぶ（ドッジボール・縄跳び・だるまさん・竹馬）	グループ	ペアの機会が多かったことで、同じクラスの中にペアがいなくても、年長児と一緒に遊ぶことで安心して遊べる様子だった。縦の交流の中でも遊びの内容がわかりやすかった。年少でも一緒に楽しむことができ、だるまさんやドッジボールと一緒に遊んだことで新たな遊びへの興味も広がった。	グループを組んだ際には、年少児と混合のグループであることも喜び、同じグループの年少児の名前を何度も確認して覚えてきた。年少児も「こっちはだるま」と手をつないで誘導したりしていた。しかし、連携活動になると年長児の中で遊ぶのが難一杯で、遊び自体は楽しいが、年少児とかがかわり、世話をしたりするのは難しい様子だった。
12	11/21	動物園ごっこ	年長児がつくった動物園に年少児が招待してもらおう（年長児からチケットをもらおう）		「どうやってつくったんだらう」「すごいね」など「年長さんってすごいな」という気持ちが強くなった様子だった。動物園でのえさやりややりとりを十分に楽しんでいった。また、友達と一緒に自分たちで行きたい動物の所を積極的にかかわって遊んでいた。幼児同士でやりとりを自然な形で楽しむためには、これまでに年長児とのやりとりが積み重ねられていたことも大きいのではなかったと感じた。	製作から年少児が来てくれたことをとても楽しみにしていた。年少児とのかかわりにも慣れ、餌をあげるの届かない年少児を抱っこしてあげたり、目線を合わせて動物の秘密を話したりしていた。「次は○○してあげたい」という願いも聞かれ、2回時間を設けたことで十分にかがわられることができたように思う。
13	11/29	誕生会 言葉あそび	4人グループで言葉遊びを一緒に楽しむ（乗り物の名前・赤い食べ物などを一緒に考え、グループ対抗ゲームをする）	グループ	言葉遊びをお部屋でしていたこともあり、一緒に自分の思いを伝えながら言葉遊びを楽しんでいた様子だった。年長児の話や聞き取りが難しい様子も幼児もいたが、年長児の思いやアイディアを聞いて楽しむこともよい経験なので、継続して楽しむ機会をつくってほしいのかもしれない。	年少児との混合ペアというところもあり、張り切り切っている幼児が多かったが、張り切りすぎた年少児の思いに耳を傾けてもらえなかった。普段の年少児の交流とは違い、年少児の意見を聞き、話し合っ進めていくということでは、年少児にとってもよい機会になったと思う。今後、年少児も取り入れていくといいのではないかと思う。

14	12/13	点灯式 (12/19ダンス)	点灯式に参加する時に、年長・年少でペアを組み、年長が暗くなったホールに連れて行ってあげる。その後、一緒にジングルベルのダンスをする。		ペア	点灯式を経験している年長児にホールに案内してもらって一緒に参加する内容だったが、こういった小さななかかわりを継続して数多くすることや、いろいろな年長児と顔見知りになっていくことがとても大切な機会だと思える。ダンスも年長児とやることでより、リズムを楽しむためだ。2回目の19日は大喜びで、ダンスを楽しむ幼児が多かった。仲良くなった年長児と誘い合って、ペアを組んでいる幼児もいた。
15	12月	お正月遊び	いちご組を開放し、かるたやおはじき、トランプ、すごろくを異年齢で一緒に楽しめる場にする			まだまだ、遊び始めであるため、年長児に教えてもらおうというよりは難しい。この時期は「お正月遊びに興味をもち、同じ場で一緒に遊ぶ楽しさを知りたい」という気持ちで、教師が遊び方を伝える。教えるだけで仲立ちしながら、遊びを楽しむようにする。これが必要だと感じた。しかし、トランプや双六など年長と一緒にすることで同年代の友達と遊ぶ機会に面白さを感じることができている様子もあった。
16	1月	お正月遊び	いちご組を開放し、おはじき、こま台を置いて、一緒に楽しめる場にする			いちご組に設定してあっても、なかなか年長児と遊ぶ時間が合わせられず、クラスの友達と遊ぶだけになってしまった。向度か機会があったときには、すぐに一緒に遊べて、すごろくやトランプを楽しんでおり、年長児とかわって遊べることを喜んでいて。
17	1/26	3年生 室内遊び交流	3年生・年長・年少の縦割りのグループをつくって、幼稚園で遊ぶ(トランプ・しりとりなど3年生が考えた遊びをした)		グループ	初めての3年生との交流ということもあり、みんな生が戸惑ってしまっている様子も見られた。3年生がいたため、年長が率先して年少児をリードすることができないこともあった。3年生の遊びがグループではっきりしているところは時間いっぱい使って楽しんでいた。
18	2/8	戸外遊び交流とお弁当	ドッジボール、ドローケイ、大縄の3つのコーナーに絞って、好きな遊びで遊ぶ		お弁当はお弁当④	ドッジボールでは年少児にボールを譲ったり、「こう投げるとよ」と教えてあげたりする姿も見られた。大縄は年長児の眺む方を見る機会にはなったと思うが、交流としてはなかなか難しかった。
19	2/24	一緒にお弁当を食べる	インフルエンザの流行で予定していたクッキングを変更してお弁当を年長組2部屋で食べる。お弁当後少し遊ぶ(バスル・絵本・トランプなど)		ペア④	今回は年少児から誘っての食育交流になったが、今まで様々な交流でかかわってきたため、どのペアも戸惑うことなくたくさんの会話をしながら楽しい時間を過ごすことができた。また、食後は絵本を読んだり、トランプやすごろくをしたりと短い時間ではあったが、一緒に楽しむことができた。
20	3/10	お別れ会	年少が司会、飾り付け、プレゼントづくりなど自分たちでできることを計画したり、考えたりし、当日は一日一緒に楽しく遊び、お昼もホールで食べる		ペア④	年少児が企画・進行してくれた会に参加し、「次は何があるのかな」としても期待して楽しんで見られた。今までは年長児が主となる機会が多かったが、年少児が一生懸命準備しようとする姿に「年少さんすごいね」と感心していた。手作りのプレゼントも「何が嬉しいかな」と「船が入るね」と喜び、とても大層そうに教師に見せたり、友達と見せ合ったりしていた。